

## 令和元年度（第2回）二宮町文化財保護委員会議 会議録

日 時 令和2年2月12日（金） 10:00～12:00

場 所 二宮町役場 公室

出席者 （文化財保護委員） 橘川卓司委員長、杉山幾一副委員長、  
島崎直人委員、鈴木一男委員、露木泰彦委員

（事務局） 森教育長、黒石教育部長、  
小島生涯学習課長、小嶋生涯学習・スポーツ班長  
須賀副主幹、中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 なし

資 料 （1）令和元年度文化財保護関係事業報告  
（2）令和2年度文化財保護関係事業について

### 1、開会

### 2、教育長挨拶

### 3、委員長挨拶

### 4、議題

#### （1）令和元年度文化財保護関係事業報告

※事務局より資料に基づいて説明

（委 員）今年度は「ものが語る二宮の歴史」ということで、ラディアンモールで縄文土器をはじめ民具などシリーズで皆さんに見てもらったということですが、完形の土器など展示品によっては横から見た方が見やすいので、今使っている上からのぞくタイプの展示ケースではなく、縦型の展示ケースがあればより迫力のある展示ができますね。ですから縦型の展示ケースもあるといいです。

（委 員）すぐに購入したり寄贈してもらったりというのは難しいでしょう。学校にはこのような形の展示ケースがあることが多いので、もし使っていないものがあるようならそれを借りて展示をする方法もあります。

（委 員）小学校では縄文時代、弥生時代を学ぶのが4月、5月頃になります。実物を見る機会はないので、できればその時期に合わせて展示があればいいと思います。また学校へ巡回展のような形で土器片などを見せる機会があると、子どもたちだけでなく、保護者にも文化財への理解が深まるのではないのでしょうか。暖房器具や計算機など昔の民具の展示もありましたが、小学校では1月から2月にかけて1000年位前の生活を学ぶという授業があります。ちょうどその頃全国の博物館では昔の道具展などが開かれますが、二宮町にはそのような施設がないので、できれば毎年このような企画があると良いと思います。

(委員長) できればそのようなことを考えていただけるとありがたいです。

(2) 令和2年度文化財保護関係事業について

※事務局より資料に基づいて説明

(委員) ラディアン開館20周年記念事業の一環として天神谷戸遺跡の展示を考えているようですが、この地は園芸試験場があった場所でもあり、園芸試験場が近代史に果たした役割は大きいです。園芸試験場ゆかりの野菜や果物なども含めての展示にすればもっと企画がふくらむでしょう。

(委員) 法務局が建っている場所には水田跡があったのが発掘調査でわかっているのですが、展示にはラディアン周辺の土地も加えて、このあたりの土地がどのように利用されていたのかが理解できるような構成にすると良いと思います。

(委員長) 他に何かありますか。

(委員) 話は少し変わりますが、私の住む市では自治会が持っている平安仏や神像などの文化財があるのですが、文化財を維持する以外に、それが収蔵されている建物の維持にお金がかかり、自治会だけでは管理が難しくなっているところがあります。市の補助にも限りがあり、大きな問題になっているのですが、二宮町の指定文化財で自治会所有のものはありますか。

(事務局) 茶屋薬師堂の阿弥陀如来坐像は地区所有で、仏像は指定文化財ですが、建物は違います。以前薬師堂の窓ガラスが割られてしまった時、地区から修理の相談はありましたが、建物は指定されていないので結局地区が修理しました。

(委員) 文化財が置かれているお堂は指定文化財でなくても、仏像を保存していくためには必要なものです。もしそれを修理しなければならなくなり、自治会ではまかないきれない金額となったら、ぜひ町でも補助を考えてもらいたいものです。

(委員) 指定されている、いないにかかわらず、町には多くの文化財があり、実際町を歩きながら説明をすると興味を持ってもらえます。町ではかつて町民大学専門講座というものを開催し、ガイドができる人材を育成していましたが、今はこのような講座もないですね。「郷土の語り部」の人材育成は一朝一夕にできることではないので、じっくり取り組んでいただければと思います。

(委員長) 町民のみなさんに町の歴史や文化を知ってもらうのはとても大切なことですし、どうやったらわかってもらえるかを考えるのが今後の課題ではないでしょうか。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局) 貴重なご意見をありがとうございました。

5. 閉会